

# 東区協議会だより



令和2年11月  
開催分じゃ！



地域の見守り隊！  
清水猶さん

約10年にわたって民生委員として地域を見守り続け、現在も地域のために日々精力的に活動している清水さん。コロナ禍の中で、活動が難しい部分もありますが、今自分にできることを精一杯取り組んでいきたいと熱く語ってくれました。

## 第7回東区協議会の概要

令和2年11月26日(木)に東部保健福祉センターで第7回東区協議会を出席委員19名により開催しました。

### 協議事項について

#### 第6期障がい福祉実施計画(案)・第2期障がい児福祉実施計画(案)のパブリックコメント実施について

障害保健福祉課から、第6期障がい福祉実施計画(案)・第2期障がい児福祉実施計画(案)の概要について説明がありました。

**Q** 障がいのある方々が地域に住んでいる場合、自治会はどのような対応をとるのか教えてほしい。また、災害時には避難の手助けができるように考えられているのか知りたい。

**A** 和田地区自治会では、防災関係で月1回を目途に訪問したり、民生委員と意見交換したりしています。どこまで生活に入っていくかは難しいですが、困ったことがあれば、自治会へ連絡してほしいと伝えています。

#### はままつ友愛の高齢者プラン(案)のパブリック・コメント実施について

高齢者福祉課から、はままつ友愛の高齢者プラン(案)の概要について説明がありました。

**Q** 介護サービスの人材確保のために、外国人の受け入れを浜松市としてしっかり対応してほしい。

**A** 全国的に介護人材が不足している状況であり、外国人が介護の仕事に就いていただくのは、人材確保対策の一つとして進められています。受け入れにあたっては、事業所でも介護職に関する研修や日本で生活するための支援を行っています。

### 地域課題について

#### 交通安全委員会

第2回交通安全委員会(11月5日・木)では、浜松東署の交通第一課の職員から東署管内の交通事故状況や厳罰化された「あおり

**地域福祉委員長にも就任されました。**  
周りの人が何をしているのか全く分からないのではなく、せめて最小の規模(向こう三軒両隣)の近所付き合いが復活できるようにしていきたいです。最終的には、地域のつながりの

中で共助できるように活動していきたいと思えます。  
**地域のつながりを強めるためには何が大切でしょうか。**  
日常の挨拶がとて大切で、挨拶されるのを待っているのではなく、自分から周りの人に挨拶をすることで地域の人とコミュニケーションのきっかけを作ることができます。  
例えば、地域の子どもたちに出会った時は、「行ってらっしゃい」「お帰りは、毎回声をかけるようにしています。子どもも顔を覚えてくれ、声をかけると返事してくれます。  
また、毎日のように会っていると、いつもと様子が違うことに気づくこともできます。日々、民生委員として活動していく中で、日頃の挨拶を通じたコミュニケーションの構築はとても大切なと実感しています。

意見述べるのではなく、所属の団体(東区民生委員児童委員協議会)の代表として発言するように心がけています。自分が今持つ知識の中で協議会に貢献できればと思います。

協議会では、個人的な願いや意見を述べるのではなく、所属の団体(東区民生委員児童委員協議会)の代表として発言するように心がけています。自分が今持つ知識の中で協議会に貢献できればと思います。

協議会では、個人的な願いや意見を述べるのではなく、所属の団体(東区民生委員児童委員協議会)の代表として発言するように心がけています。自分が今持つ知識の中で協議会に貢献できればと思います。

## 特集

### 東区協議会委員へインタビュー 第5回目は清水猶さんです！

今年度から東区協議会委員に就任されましたが、意気込みを教えてください。

東区協議会委員は、広い視点を持って、東区全体を把握する立場であり、地域を限定している民生委員の活動とは異なるため、見るごと、聞くごと全てが新鮮でした。

協議会では、個人的な願いや意見を述べるのではなく、所属の団体(東区民生委員児童委員協議会)の代表として発言するように心がけています。自分が今持つ知識の中で協議会に貢献できればと思います。

協議会では、個人的な願いや意見を述べるのではなく、所属の団体(東区民生委員児童委員協議会)の代表として発言するように心がけています。自分が今持つ知識の中で協議会に貢献できればと思います。

運転」について話を伺いました。

#### 地域防災委員会

第3回地域防災委員会(10月29日・木)では、震度5弱、震度6強での避難所開設までの流れ、既存のパンフレットの記載内容について協議しました。

#### 地域福祉委員会

第3回地域福祉委員会(11月6日・金)では、東区健康づくり課の職員からコロナ感染予防について話を伺いました。

### 報告事項について

#### 行政区の再編の協議の経緯について

鈴木行財政改革・大都市制度調査特別委員会副委員長、鈴木副市長からあいさつ、金原総務部長から説明がありました。

**Q** なぜ、「区の再編は必要」という結論に至ったのか。

**A** 人口減少・少子高齢化という中で、行政の効率化やコスト削減を行うことと併せて、市民サービスを低下させないことの両立を目指しています。その方法の一つとして、オンライン化による人員の削減が考えられますが、職員を減らすことのみでなく、市民の皆様身近なところで寄り添った対応も必要であると考えています。

サービスを低下させないことを最低限として、住民自治のあり方を改めて考える中で、区長の権限等も見直し、新たに行政区を再編し、スタートを切る必要があると判断しました。

※会議の傍聴を希望する場合は、東区協議会事務局(東区役所区振興課)へ連絡してください。議事録の全文や開催日程は市ホームページで公開しています。(右のQRコードからもご覧いただけます。)

TEL 053-424-0115 FAX 053-424-0131

E-mail: e-shinko@city.hamamatsu.shizuoka.jp

